



サポわん

みなさんの活動の広報
は広報大使のサポわん
にお任せ下さい。

福島市市民活動サポートセンター ふくサポ通信

2024 Winter vol.116





にゃんこ隊長

耳よりな情報があり
ましたら、取材に飛
んでいきます！

<https://www.f-ssc.jp>

にゃんこ隊長が行く！

「ボランティアグループKATARI」

♡♡居場所からやりがい・生きがいの発見～

ボランティアグループKATARIの代表を務める佐久間さんは、友人がひきこもり状態になったことをきっかけに全国に同じような悩みや状況を持った方がたくさんいるという現状を知ったそうです。ひきこもり当事者の居場所をつくることで、現代で生きづらさを感じている方の苦しみが少しでも解消できる社会にしたいという思いからKATARIの活動が始まりました。

KATARIでは主に居場所事業と啓発事業、2つの事業を行っています。

居場所事業では、対面とオンラインのハイブリッド形式でひきこもり当事者の方のための居場所カフェを行っています。居場所カフェでは、参加者の皆さんがそれぞれ思い思いの時間を過ごしています。



【居場所カフェ】



【KHJの全国大会での報告の様子】

居場所に参加した方が、先日石川県で開催されたKHJ全国ひきこもり家族会連合会による全国大会分科会にも一緒に参加し、当事者目線で話をする場にも行くことができたそうです。「居場所の参加から屋外活動に繋がり、その先でやりがい・生きがいの発見」に繋げていく。居場所に参加する中で自分らしい生き方を見つけてもらえたら嬉しい」と佐久間さん。

啓発事業では、当事者への周囲の理解を促し、家族・支援者・当事者の気づきや学びの機会になればという思いから、講演会を開催しています。



【講演会の様子】

様々なお話をお聞かせいただいた最後に、佐久間さんに今後の展望についてお聞きしました。

佐久間さんは「孤独や生きづらさを抱える人達が多世代で交流できる場を常設したい。ひきこもり期間を経験している方は、社会と繋がっていなかった数年間についてネガティブに捉えがちですが、自分が悩み苦しんだ経験は、今、これから悩み苦しむ方のサポートに役立てられる貴重な経験だと考えています。その貴重な経験をお互いに提供できるような場をつくれたらいいと思う。」と結びます。

居場所カフェの開催日時や講演会に関する最新情報はKATARIの公式X (@katarifukushima) で確認できます。1人で悩みを抱え込んで困っていませんか。そんなあなたをKATARIはお待ちしています。



<お問い合わせ先>

X (旧Twitter) : @katarifukushima
Mail : katarifukushima@gmail.com



【代表の佐久間 雄大さん】



HPはこちらから ⇒

ふくしま市民活動 フェスティバル2024

11月3日(日)、AOZ(アクティブシニアセンター・アオウゼ)において「ふくしま市民活動フェスティバル2024」が開催され、市民活動団体・NPOや企業など42の団体が参加しました。

通常の活動紹介・相談コーナーや体験コーナー・物販、ステージ発表に加え、地元のイラストレーターの作品展、更にアニメで地域の賑わい創出に取り組んでいる飯坂温泉×キャラクターを打ち出す土湯温泉のトークセッションと、サブカルチャーによる地域活性化にスポットを当てるなど、充実した内容で、組織や活動(事業)の壁を超え、市民活動の認知や活性化、協働の推進を後押しするフェスティバルとなりました。

企画展



【福島ラーメン組っ!】

地元で活躍するイラストレーターの高橋な美氏と菅野愛希氏による作品を展示しました。

◇トーク&セッション



飯坂温泉×土湯温泉

【土湯温泉キャラクター
きぼっこちゃん】

美味しい
コーヒーは
いかが？



◇活動紹介&パネル展示

+販売



～福島の風景～

客席のみなさんも
セリフ読み体験



500
【1コインエステ】



市長もノリノリ!!
テーブルホッケー



◇体験コーナー

◇ステージパフォーマンス



骨密度がしんばい～



実年齢とのギャップ
はいかに…



コスプレイヤー3人で
ハイポーズ!!



フラワーアレンジ
メント奮闘中…



ここは大漁
だね～☺



*ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



CARNIVAL BAZAARが開催されました

10月5日(土)にGLAMQUET桑折momomoテラスにおいて、今年2回目となるCARNIVAL BAZAARが開催されました。

一般社団法人CARNIVAL WORKSは、貧困・虐待・生きづらさなど数えきれない困難が付きまとう現代において、これからの世代にひとつでも多くの笑顔を紡いでいくために2022年3月に設立された団体です。

会場であるスーパー併設型のキャンプ・グランピング施設GLAMQUET桑折は株式会社いちいの協力のもと、一般社団法人CARNIVAL WORKSが運営管理・施設維持を行っています。子ども達向けのイベントなどを企業・学生・地域を巻き込みながら、様々な背景を抱える人達と共に実施することで、多様性のある継続的な雇用を創出しています。

CARNIVAL BAZAARは、一般社団法人CARNIVAL WORKSが行う多種多様なイベントのうちのひとつです。各ブースにはこだわりのハンドメイド作品や美味しいお菓子が並び、エコで

サステナブルな取り組みとして雑誌・古着回収を行っているブースもありました。その他、消防車・自衛隊パジェロの展示や写真体験会など子どもも大人も楽しめる様々な催しが盛りだくさんのイベントでした。

桑折町の豊かな自然に囲まれた会場は、来場者の方とスタッフの皆さんの笑顔や笑い声が溢れていました。

【写真体験会で写真のお披露目】



【グランピング施設でのイベントの様子】



【サッカーシュート体験でGoal!!】

これからのイベント開催情報はCARNIVAL WORKSホームページまたはinstagramにて確認できます。皆さんも一般社団法人CARNIVAL WORKSが創造するプロジェクトの一端に触れてみてはいかがでしょうか。

☆問合せ先：090-5818-5320

Info@carnival-works.org

☆HP <https://carnival-works.org/>



☆ふかちゃんをつぶやき☆

『自分を見つめる』

自分と同じ人はどこにもいない。みんな違う感情を持ち、違う意見を持ち、違う行動をする。そんなことは解っているはずだ。自分が好きなものを嫌いな人がいるし、自分が好んでいること自体を嫌がる人もいる。自分がやっていることを不愉快に感じる人がいて、自分が正しいと思うことを間違っていると言う人がいる。そんなことも解っているはずだ。みんな自分が正しいと思いたいし、結局そう思っている。そして、更に、そんな自分のことを理解して欲しい、賛同して欲しい、好きになって欲しいと思っている。

人は物事を自分の都合で解釈する。衝突を回避するためのルールは、「大多数の人が同意しているその社会」では成り立つ。ルールの違う団体同士では、衝突が起こる。そして、戦争が始まったら「共に生きることは、もう、できない」と言いだす。戦争は「正しい者同士の殺し合い」なのだ。だが、人類は、「理性」をもってそれを押しとどめる事が出来ると信じたい。「争い」の根底にある自らの「正解」や「欲望」や「感情」をも、結局はそれぞれが自ら制御できると信じたい。

人間は、感情の動物。嫌な奴は嫌だ。嫌いな奴は嫌いだ。それでも私は、それより先に「共生」があると思いたい。そして、「先に共生がある」のは、共に滅ぶことを避ける為の、きっと「人類」が進化してきた間に得た、サピエンスの何にも代えがたい知恵だと思いたい。でも、残念ながら今日も、世界中で起こっている様々な紛争の様子を、TVが報じている。そして、それに何の反応もしない自分がここにいる。

理想



現実

～ふくサポ おすすめの逸品～

～Part27～

今回はこの季節にぴったりのリースを紹介します。

伊達市の聖光学院高校近くにある「サポートrita」は、一般社団法人三方（サンポウ）が運営する就労支援B型事業所です。令和2年1月に開所されたこちらの施設には現在22名の利用者の方が登録しており、職員の方と一緒に木の実を使った小物を制作、販売しています。

材料となるどんぐりなどの木の実は、近くの公園や学校、神社などへ行き自分たちで採集しているそうです。集めてきた様々な形の木の実を天日干しで乾燥させ、さらにカビを防ぐためひとつひとつ手作業で拭いています。



【職員と利用者さんの作業の様子】



【人気の木の実リースとガラスのキーホルダー】

特に今の時期に人気の「木の実リース」（500円～）は注文で購入するお客様も多く、利用者のみなさんと職員の方々が黙々と制作に取り組んでいます。リースの土台は、同じ長さに切りそろえた木の枝を丸い形に並べ、クラフトバンドと麻ひもでしっかりと固定します。そこへきれいに下処理されたどんぐりや松ぼっくり、くるみなどといった木の実を飾っていきます。こうして手間を惜しまず丁寧に作られた一点もののリースは、自然のぬくもりがあたたく、冬の訪れを感じさせてくれる逸品です。

ほかにも半分に割った形がかわいらしいくるみのキーホルダー（300円）や、カラフルなキラキラガラスのキーホルダー（500円）もよく売れているそうです。これらの商品はこちらの施設のほか、道の駅りょうぜん、まちの駅伊達、いちい飯坂店・桑折店でも購入することができます。

代表理事で施設長の桑原さんにお話を伺いました。rita（リタ）とは仏教語の「利他」…「相手を幸せにすること」から、また三方については「地域の方々」「利用者」「職員」の三者を指して名付けられたそうです。

みんなが幸せになれることを願って作られたritaさんのリース、ぜひ手に取ってみてください。夢中でどんぐりを拾ったり、クリスマスを楽しみにしていた幼い日の自分に会えたようで、楽しいジングルベルが聞こえてきそうです♪



◆◆問い合わせ先◆◆ ～サポートrita～

住所：伊達市上台3-1
TEL：080-9252-5260
MAIL：sanpo.rita@gmail.com
営業時間：10:00～17:00
定休日：土曜・日曜・祝日

編集後記

- ・えっ、忘年会の案内？また歳をとるのか～（ふかちゃん）
- ・クリスマスに、お正月（^^♪・・・心が浮き立つ季節！懐は寂しくなるけど・・・。（マータン）
- ・寒暖の差が激しい今年の冬、体温調節できるものあるといいね～（みー）
- ・クリスマスが近づくと「エビスヤ」のチラシが待ち遠しかった♪（な）
- ・極寒北向寝室ですが、着る毛布パジャマのおかげで快適に眠れています。（買って良かったPart2）（優）
- ・毎年雪の上の歩き方の記憶がリセットされる。なぜ…。（え）

福島市市民活動サポートセンター「ふくサポ通信」2024年 Winter vol.116

発行日／2024年 11月30日 編集／認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター
発行／福島市市民活動サポートセンター 〒960-8041 福島市大町4-15 チェンバおおまち3階
TEL 024-526-4533 FAX 024-526-4560 MAIL f-ssc@bz01.plala.or.jp

